

# 笑顔が一番

令和3年  
今江こども園  
二木 恵子

## 喜びというプレゼント交換

発表会、ありがとうございます。それぞれの年齢の発達・成長の感じられる発表で、感動と笑いの連続でした。私は、子どもの発表をみるお家の方の笑顔を見て、その表情に幸せを頂きました。

「子育ては、幸せ。けれど、時々大変」私もよく言う言葉です。

今だから、こうしていろいろお話できますが、私自身、若い時は日々の忙しさで毎日が大変で「子育ての楽しさ」を味わうことができなかつたように思います。今思えば、あんなに素敵で大切な時期はなかつたと思います。だからこそ、少しでも子育て真っ最中のお父さん、お母さんのお助けができればと思っています。

発表会の最後にも、お話ししましたが、子育ての「喜びというプレゼント交換」についてもう少し詳しくお話しますね。\*数年前にも、紹介した本です。



### 「かわいがり子育て」 佐々木正美の本より

人間にもっとも大切なコミュニケーションは、「喜びを他者に与え、そして自分も与えられている」ということです。

「あなたが好き」とか「かわいいな」という気持ちをもつと、それを言葉に出さなくても相手に心は通じるし、同じような温かい心が返ってきます。これは言葉を変えると、「喜び」という心のプレゼントをお互いに交換しているのですね。このプレゼント交換は、子育てそのものです。



子育てというと親から子どもへ一方的に愛情を注ぐものだと思ってしまうがちですが、じつは違うのです。

**子育ては、心の交流なのです。**

そして、子どもの情操は、こうした感情の交流を基盤に育っていきます。

言葉がわからなくてもコミュニケーションは始まっています。それどころか、眠っていてもプレゼントは行ったり来たりしています。

私たちは、毎日子ども達から、多くの「喜び」「感動」のプレゼントをもらっていますね。発表会でも、子ども達から、感動のプレゼントを受け取りました。このプレゼントのお返しは、もちろんお金や物ではありません。

子どもが一番喜ぶのは、保護者の皆さんが笑顔で、ぎゅーっと抱きしめてあげることです。



抱きしめられることで、「自分は愛されている」「自分は必要な存在なんだ」という喜びの心で満たされるのです。自己肯定感もあがり、これから力強く生きていくための心の基盤になるのです。

クリスマスが近いです。

プレゼントの用意をするのは、親として大変ですが喜びでもありますね。子ども達が居るからこそ、もらえる「喜び」です。ぜひ、プレゼントの一つに、「〇〇ちゃん、大好き！」の言葉を添えて、ぎゅーっと抱きしめることを忘れないでください。

喜びのプレゼント交換になると思います。

## 本箱、本を寄贈して頂きました

20日に、今江町のダイワ株式会社（東野病院の近く）の社長さんご夫婦がおいでになりました。会社設立60周年を記念して、本園にも、なんと！！「絵本の大型本箱3台、絵本63冊、大型絵本15冊、DVD図鑑2セット、動く絵本2セット」を寄贈して頂きました。絵本教育に力を入れていることを知っていただいたうえでの寄贈で大変嬉しく思いました。改めて地域に支えられている園だなあと感謝の気持ちでいっぱいになりました。この日は、サロンで早速購入させていただいた本の読み語りを、奥様にいただきました。子ども達にとって最高のクリスマスプレゼントになりました。これからも読書教育を頑張ります。



「たくさん、本を読んでください。」  
社長さんから、本を渡していただきました。  
素敵なクリスマスプレゼント！



奥様に大型絵本を読んでもらいました。  
「バムとケロのそらのたび」楽しい本で  
子ども達の笑顔がいっぱい見られました。

## 来年もよろしくお祈りします

今年も引き続きコロナ禍の影響を受ける年でしたが、子ども達の心と体の育成のために保育活動を工夫して取り組んできました。保護者の皆様のご協力のお陰様で、子ども達の笑顔と成長をみることができたことを感謝しています。

今年の漢字は「金」でした。オリンピックやスポーツ競技でのアスリート、将棋棋士等の若者の活躍に勇気・元気をもらいました。来年は寅年、さらなる飛躍の年になることを祈っています。では、よいお年をお迎えください。